

平成28年度宮城県献血推進協議会議事録

平成29年1月23日午後1時から、ホテル白萩けやきの間において、平成28年度宮城県献血推進協議会を開催した。

- | | |
|----------------------|---|
| 1 開会 | 薬務課吉田部副参事が協議会の開会を告げ、情報公開条例第19条に基づき、協議会は公開されることを報告した。
協議会条例第4条の規定により、委員18名のうち15名が出席で、定足数である半数を満たし、会議が成立することを報告した。
株式会社河北新報社総務局広報部担当部長の貝山 享委員が、前任の佐藤由紀子委員の部署異動に伴い、平成28年10月より就任されていることを説明した。 |
| 2 あいさつ | 薬務課宮城課長あいさつ

協議会条例第4条第1項の規定に基づき、議長を張替会長にお願いし、議事を進行することとした。 |
| 張替会長 | |
| 3 議事 | 今日の議事録署名人を、中川委員と山田委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。 |
| (1) 議事録署名人選任 | |
| (2) 平成27年度献血推進実績について | それでは議事に入らせていただきます。議事の(2)平成27年度献血推進実績について、薬務課及び血液センターから報告をお願いします。 |
| 事務局(薬務課) | 【資料 冊子】『宮城県の献血』により
平成27年度献血推進実績について報告した。 |
| 事務局(血液センター) | 【資料 冊子】『宮城県の献血』により
平成27年度献血推進実績について報告した。 |
| 張替会長 | ただ今の平成27年度実績について、御意見、御質問はありますでしょうか。 |
| 佐々木委員 | 先程の説明で献血者目標を23年ぶりに達成したとの説明でしたが、具体的な取組みをお聞かせ下さい。 |
| 事務局(血液センター) | 献血を実施する県内すべての事業所を血液センターが市町村担当者と一緒に訪問して、事業所担当者に現状を説明する等の打ち合わせを行い、献血者の事前予約を取る等の協力者の人数把握に努めたことが大きな要因です。 |
| 中川委員 | 血液製剤を効率よく製造することにより、献血者目標数が減少したことも挙げられます。具体的には、血小板成分献血において献血者1人から2人分の血小板を採血したり、検査精度の向上により血液製剤の製造率を高めることにより改善 |

	しております。
張替会長	よろしいでしょうか。他に何かございますか。
	【質疑等なし】
(3) 平成28年度献血推進計画及び献血推進状況について	次に、議事の(3)平成28年度献血推進計画及び献血推進状況について、薬務課及び血液センターより報告願います。
事務局(薬務課)	【資料 1 - (1)】『平成28年度宮城県推進計画』 【資料 1 - (2)】『平成28年度献血推進状況(事業実績)』 により 県から報告した。
事務局(血液センター)	【資料 1 - (2)】『平成28年度献血推進状況(事業実績)』 【資料 2】『平成28年度献血実績について』 により 血液センターから報告した。
張替会長	平成28年度献血推進計画及び献血推進状況について御意見、御質問はありますでしょうか。
阿部委員	献血の具体的な目標はありますか。又、福島県・秋田県では献血ルームが数ヶ所ありますが、宮城県でも仙南・仙北へのルーム追加予定はありますか。
事務局(血液センター)	献血ルームは、全国的に人口集中地域への集約を進めており、秋田県及び福島県の献血ルームよりも、宮城県の献血バス1台の方が献血者が多いことから、仙南・仙北への献血ルームの増設予定はありません。仙台市内2ヶ所の献血ルーム(AOBA・アエル20)は県外からの献血者も多く、今後も効率的な運営に努め、献血者に対応してまいります。
張替会長	献血の年度目標達成には12月末の達成率が重要だと思いますが、平成27年度は何%ぐらいでしたか。
事務局(血液センター)	平成27年度12月末の達成率は75.9%で、平成28年度は達成率が低いので、年度計画の達成が厳しい状況ですが、引き続き計画達成に向けて取り組んで参ります。
(4) 平成29年度献血推進計画(案)について	それでは、次に、議事の(4)平成29年度の献血推進計画(案)について、薬務課と血液センターから、御報告をお願いします。
事務局(薬務課)	【資料 3】『平成29年度宮城県推進計画(案)』 により 県から報告した。

事務局（血液センター）	【資料 3】『平成29年度宮城県推進計画（案）』により 血液センターから報告した。
張替会長	事業所にアンケート調査・訪問を行ったという事でしたが、同様のアプローチを高校に対しても行いましたか。
事務局（薬務課）	残念ながら高校に対してのアプローチは行っていません。今後検討します。
山田委員	40代の献血者が多く、30代以下の献血者が減少しているとの説明でしたが、人口が減ったためなのか、献血率が下がったためなのかどちらですか。
中川委員	献血者の6割は40歳以上です。30歳代以下では人口減少の割合以上に献血者数が減少し、献血率も低下しております。したがって若年層に対する啓発が必要と感じております。
山田委員	26年度の1校当たり献血者数82人が、28年度は58.9人に減っているので質問しました。では両方減っているのですね。
千葉委員	献血推進協議会設置市町村は7市7町1村ですが、今後新たに設置する予定はありますか、又設置しない理由をお聞かせ下さい。
事務局（薬務課）	県に対して、市町村から新たな協議会の設置に関しての相談はありません。
張替会長	私を含め薬務課の年代の人たちが考えた広報では、なかなか若者にアピールできないと思います。もう少し若い方々の方法、提案を取り入れて貰いたい。
薬務課長	今程頂いた意見、SNSがいいかどうかも含め若者の意見・目線を今後検討していきます。
張替会長	それでは、平成29年度献血推進計画（案）について、委員の先生方から何かございますか。【質疑等なし】
	承認していただいたということで、ありがとうございました。
(5) その他	その他委員の先生方から何かございますか。
石川委員	献血を待つ時間が長くて、途中で帰ってしまう方がいる。場所によっては献血車を増車して貰いたい。又、1年間のスケジュールを作成して献血車の手配を行っているが、献血の支援を行おうと思っても、スケジュールが合わなく献血できないケースが発生している。もっと臨機応変な対応をお願いしたい。

中川委員	1日に最大4台の献血車を稼働することができます。なお多くの献血者が一度に来られると、待ち時間が長くなるため、事前に献血者受付の平均化に協力していただきたいと思います。また日程などのスケジュールについては血液センターに相談していただければ、できるだけ対応したいと思います。
張替会長	その他はないようですので、それでは、事務局に進行をお返したいと思いますので、よろしくお願いします。
4 閉会	
吉田部副参事	張替会長ありがとうございました。 みなさまには長時間にわたり熱心に御討議いただきまして、ありがとうございました。 これを持ちまして、平成28年度宮城県献血推進協議会を終了させていただきます。

審議内容を明確にするため、議事録署名人が記名押印した。

署名人

署名人